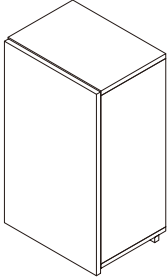


SNP14U

シャンプーキャビネット[上台]

組立・取扱説明書





この度はマテリシャンプーキャビネットをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この組立・取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解のうえ、正しく組立、使用してください。

お読みいただいたあとは、大切に保管してください。

パーティクルボード・ポリ合板・アイアン / MADE IN CHINA

2026.09.08

❗ 初期不良商品の交換について

商品の初期不良に伴う交換を承っております。

商品到着後、**必ず5日以内に** 開梱し部品確認をしてください。

万が一初期不良があった場合は**5日以内に**交換・返品のご連絡をお願い致します。

弊社へのご連絡後に商品をご返送ください。なお、交換は該当商品の在庫がある場合に限りさせていただきます。在庫切れ等により交換が受けできない場合には、ご返金にて対応させていただきます。

※不良品、誤配送による返品・交換の場合は、弊社にて送料を負担させていただきます。

❗ 一部部品が初期不良の場合

不良部品の交換にて対応させていただきます。返品対応はできません。

❗ 以下の場合は交換対応することができません。

- ◎イメージ違い等お客様のご都合による返品・交換希望の場合。
- ◎未開封商品で、商品到着後**5日以内に**返品・交換のご連絡をいただいていない場合。
- ◎お客様のお手元に配送され、**配送後5日以上**経過している場合。
- ◎購入頂いた商品が SALE 対象商品等の特別販売商品や返品・交換不可商品の場合。
- ◎商品を開封し利用された場合。
- ◎**開封し商品を組立てた場合、または壁に取付けた場合。**
- ◎お客様のもとで傷、汚れなどの破損や不具合が生じた場合。
- ◎お客様のご都合による、故意・過失・改造加工を施した場合。
- ◎商品箱を紛失された場合。

※その他、上記に該当しない返品・交換内容につきましても、弊社にて不当と判断した場合はお受けでない事がございます。

あらかじめご了承ください。

SHAMPOO CABINET（上台） 品番 SNP14U

⚠ 注 意 組立の前に必ずお読みください

組立の前に

- 初期不良の場合のみ返品・交換させていただきます。お問合せください。
- 組立前に商品の異常がないか十分に確認してください。組立後の不具合、破損、事故に関して弊社では一切責任を負いかねます。
- この商品は工事業者取付指定商品ですので、取付は必ず工事業者に依頼してください。
- 本商品は荷重のかかる商品です。壁の構造と材質を工事業者に必ず確認してください。

例) 下地の有無、取付ける壁の耐久性

取扱いについて

- 扉をゆっくり開閉してください。変形・破損の原因となります。
- 表面は防水性素材を使用しておりますが、表面に傷をつけると耐性が低下するため、お取扱いには十分にお気をつけください。
- 商品により風合いが多少異なります。

 組立配送サービスは**開梱・組立・梱包材**の回収までとなります。

壁への設置は別途工事業者様に依頼してください。※設置例は別紙参照

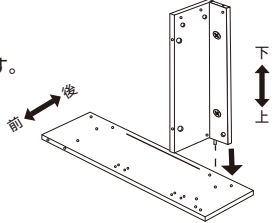
⚠ 各部パーツの、「本体の方向」に注意し、必ず「上下」「左右」「前後」の方向を確認しながら、組立手順に沿って慎重に組立ください。※確認を怠った上でのパーツの破損は有償となります。

各パーツは、それぞれ組立工程に沿った・順番・方向があります。

誤った方向・順番で組立ると、変形、破損及び転倒や事故の原因となり危険です。

✕ 本体の向きや順番を確認せずに組立

○ 指示に従った向きを確認して組立

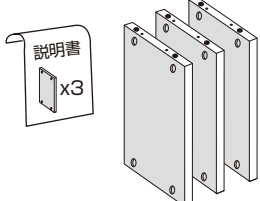




必ずお二人以上で作業をおこなってください。



インパクトドライバーは使用しないで下さい。



部品が揃っていることをご確認ください。

安全に末永くご使用いただくためのご注意(必ずお守りください)

⚠ 注 意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、傷害を負う可能性や、物的傷害の発生が想定される内容を示しています。

⚠ 運送事故について

- 荷物が到着次第、速やかに開封していただき商品の確認をしてください。運送事故が原因で破損が生じる場合があるため、必ず開封確認をしてください。
- 万が一、破損を確認された場合は、損傷状態を確認のうえ、運送会社まで連絡してください。ご返送時に、梱包材も必要となりますので大切に保管してください。
- 到着から5日以上の経過、梱包材を破棄された場合は配送事故の対応が不可能となります。
- 上記以外の初期不良の場合のみ返品・交換させていただきます。

⚠ 組立上のご注意

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく組立てください。組立が不完全の場合、転倒事故や破損の原因となり危険です。 ※付属部品は予備として多めに含まれています。
- 生産の時期により同じ商品であっても仕様が異なる場合があります。
- 必ず **商品に同梱されている説明書を参照のうえ、お組立ください。**

⚠ 設置上のご注意

- 垂直で安定した場所を選んで設置してください。壁が傾斜の場所や凹凸のある壁面や不安定な場所で使用すると、転倒や事故の原因となり危険です。
- 必ず壁に固定した状態で使用してください。

⚠ 末永くご使用いただくために

- 金具がゆるんだまま使用すると、変形、破損及び転倒の原因となり大変危険です。定期的に金具がゆるんでいないか点検し、ゆるみのある箇所はしっかりと締め直してください。
- 製品をぬらしたままにしたり、製品の上にぬれた布などを放置しないでください。しみや変色、サビなどの破損の原因となります。ぬれた場合は水分が残らないようにすぐに拭き取ってください。

⚠ お手入れについて

- 固くしぼった布で拭いてください。汚れがひどいときは中性洗剤を薄めて拭き取り、あとで洗剤が残らないよう、固くしぼった布できれいに拭き取ってください。水分が残らないようにしてください。
- アルコールやシンナー系の溶剤は表面をいためる原因となります。絶対に使用しないでください。

⚠ 免責事項

- 天災、第三者の行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他弊社想定外の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本製品及び製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らず生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

製品についてのお問い合わせは

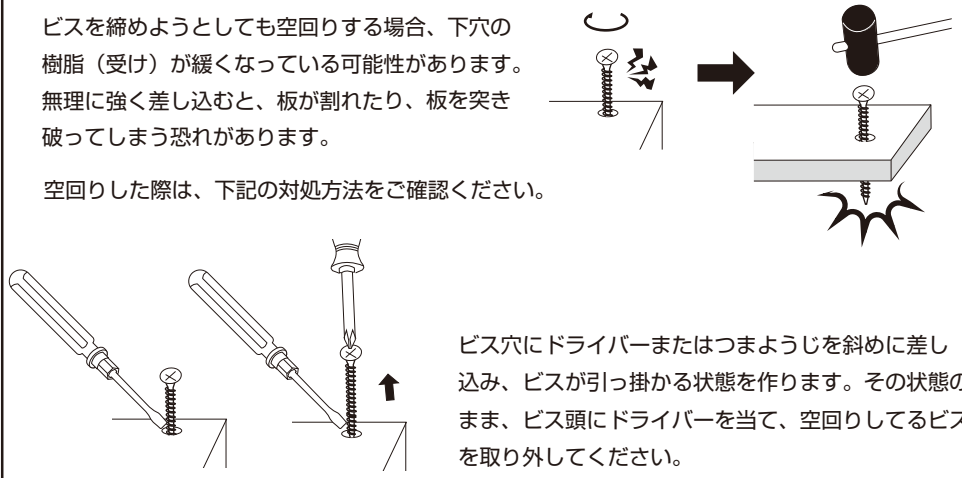
株式会社 mateli（マテリ） TEL 0120-83-8720 FAX 06-6568-8721 E-mail contact@mateli.jp HP www.mateli.jp
〒556-0020 大阪府大阪市浪速区立業1-2-4 受付 10：00～17：00 定休日/土日（祝日は営業）※冬季・夏季休業・GWは除く

⚠ 組立時で注意

ビス空回り

ビスを締めようとしても空回りする場合、下穴の樹脂（受け）が緩くなっている可能性があります。無理に強く差し込むと、板が割れたり、板を突き破ってしまう恐れがあります。

空回りした際は、下記の対処方法をご確認ください。



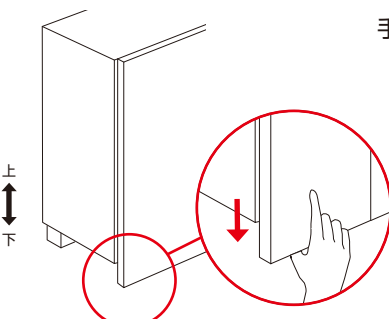
ビス穴にドライバーまたはつまようじを斜めに差し込み、ビスが引っ掛かる状態を作ります。その状態のまま、ビス頭にドライバーを当て、空回りしてるビスを取り外してください。

樹脂（受け）を板面と完全に平らになるまで差し込み、ビスを再度取り付けてください。

手がかりの位置

指示に従った向きを確認して組立してください。

手がかりが下方向になっているかを確認してください。

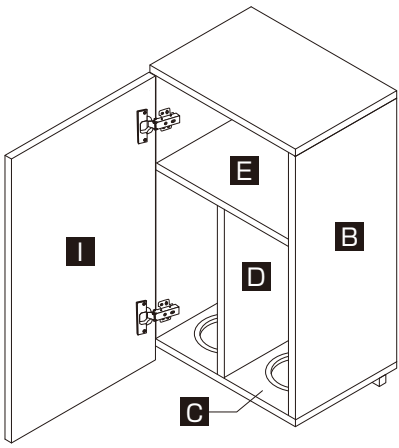


開閉時に指を引っかけられるよう扉はあえて下に長い設計となっています。

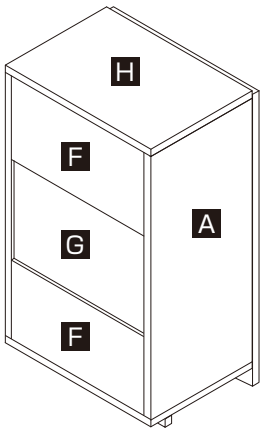
※各パーツは、それぞれ組立工程に沿った・順番・方向があります。誤った方向・順番で組立ると、変形、破損及び転倒や事故の原因となります。

完成図・本体部品名称

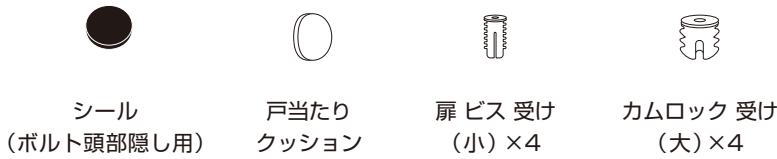
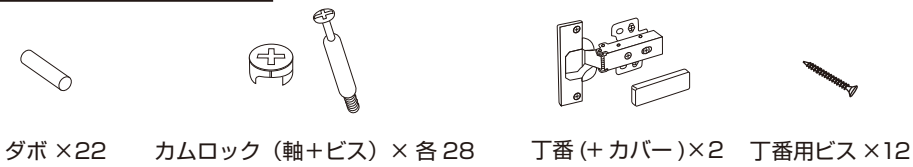
パーツ構成図



後面



本体部品名称



※付属品は予備として多めに含まれております。
※工具は修理やメンテナンスなどの際、必要ですので、廃棄せずに保管してください。



必ず 完成図 ・ パーツ構成図 ・ 組立工程図 を
一通り確認したうえで、イラストを参考にしながら組立はじめてください。

お客様
準備



滑り止めのついた
手袋



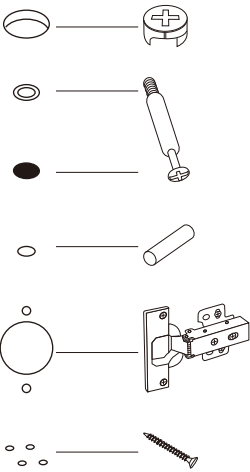
プラスドライバー
(先端形状 2 番)



マイナスドライバー

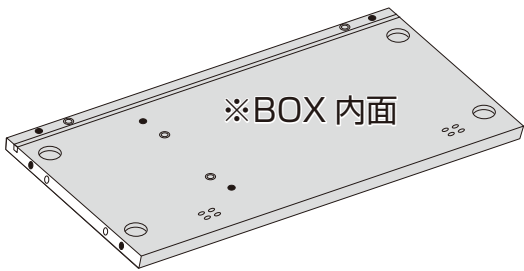
穴のガイド

穴の図 使用ビス等

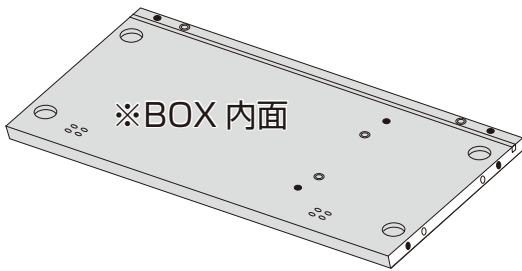


□ 外側色
■ BOX 中面
(基本はブラック色)

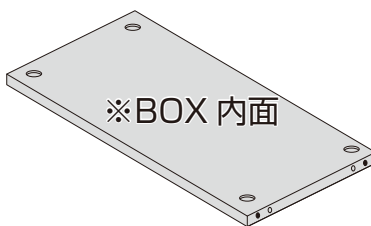
A 左側板



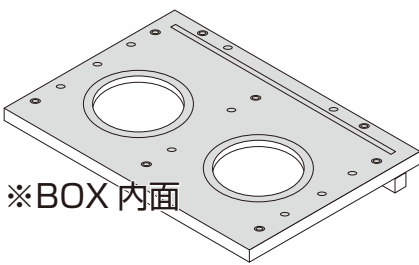
B 右側板



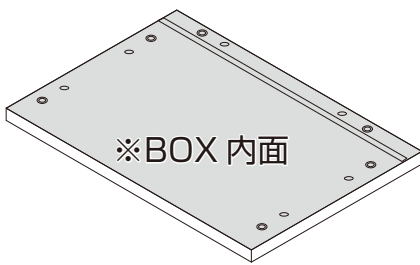
D 仕切り板



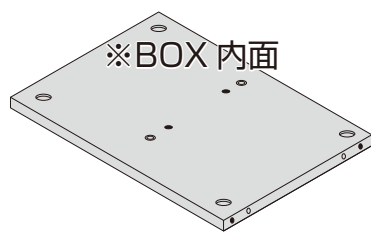
C 底板



H 天板



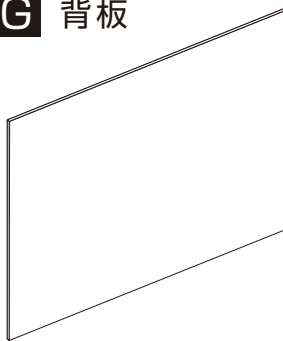
E 棚板



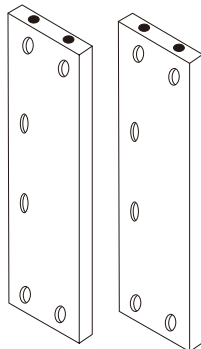
I 扉



G 背板



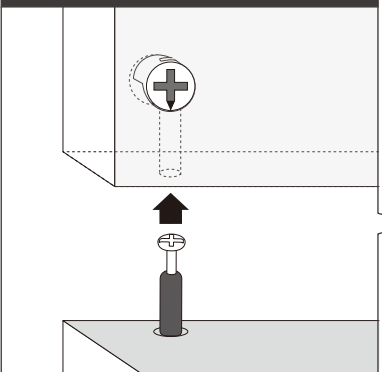
F 補強板 × 2



同じ商品でも入荷時期により、使用する部品が異なる場合があります。必ず同じ商品に付属してある部品を使用してください。

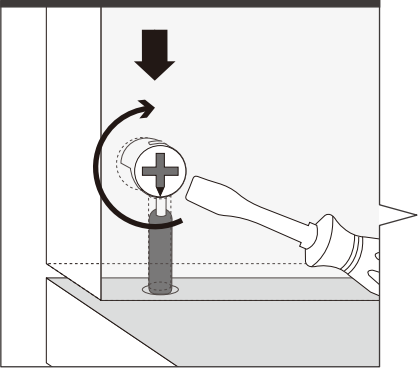
カムロックの使い方

① はめ込む



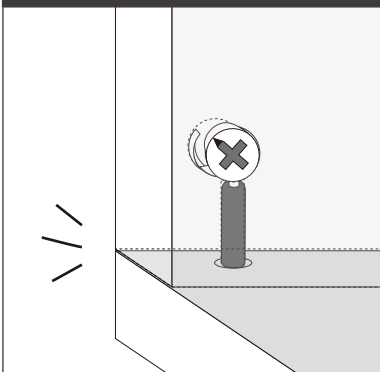
軸の  の向きとビス下穴の
向きをそろえて軸を埋め込みます。
ビスを必ず垂直にはめ込んでください。

② ドライバーで回転



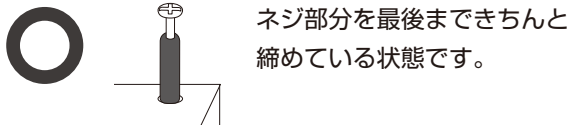
マイナスドライバーで軸を
90° ~ 180° 時計回りに回転させ、
締めてください。

③ ぴったり固定

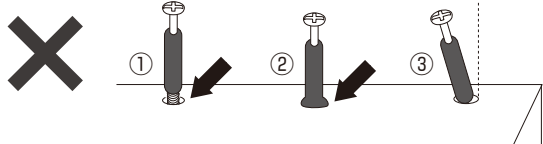


軸の受け 2 本の爪がネジの頭に
引っ掛かり、板をピッタリ固定されます。

カムロック (ビス) の正しい取付け方



間違った取付け方



① ネジ部分が板から出ていること。
② ネジ部分を締めすぎ・差し込みすぎること。
③ ビスが斜めに差し込んでいること。

1 組立の準備

布や段ボール等を敷く

床を傷つけないように柔らかい布や段ボール等を敷いて作業する事をお奨めします。

各パーツの下穴に樹脂の有無を確認してください

【カムロック(ビス)の下穴】と【扉(ビス)の下穴】
全てに「受け」が入っているかを確認してください。
入っていない場合はそのまま使用せず
付属の「受け」を差し込んでから組立てください。

受け

○あり

×なし

受け(小)

受け(大)

扉(ビス)の各下穴

カムロック(ビス)の各下穴

2 側板の丁番取付

Aか**B**の下穴位置に、丁番を丁番用ビスで2カ所プラスドライバーで取付ける。

A 左側板 左開きの場合

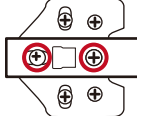


B 右側板 右開きの場合



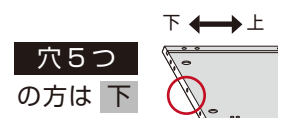
重要

扉の開閉に関わる大事なパーツです。
必ず4カ所固定してください。

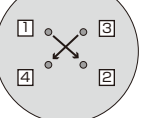


プラスドライバーで丁番のビスを調整することで、扉のスレ(上下左右)を合わせることが可能。

(丁番調節方法は9 参照)



対角線上に取付けて下さい。



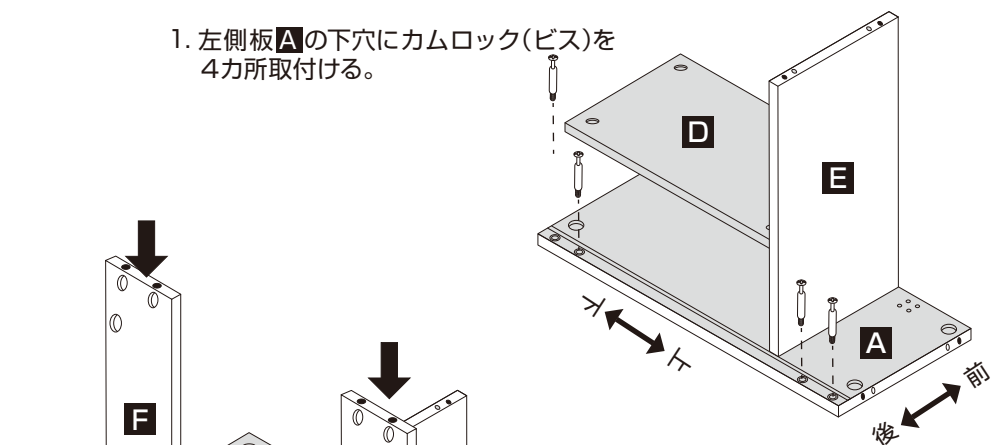
安全にご使用いただくために、必ず取付けてください。

ビスを全て取付けずに使用し、万が一扉が外れた場合の保証に関して一切責任を負いかねます。

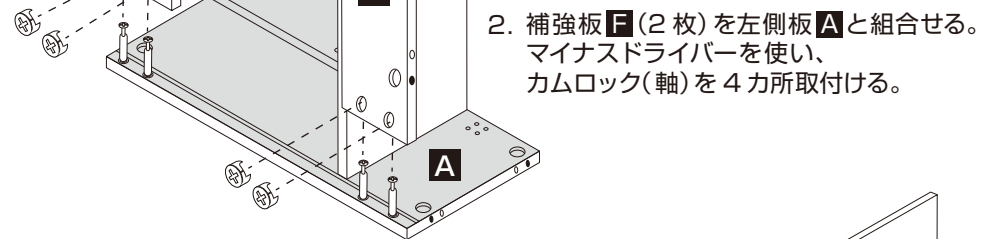
4 BOX 内部の組立

※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立てください。

1. 左側板**A**の下穴にカムロック(ビス)を4カ所取付ける。

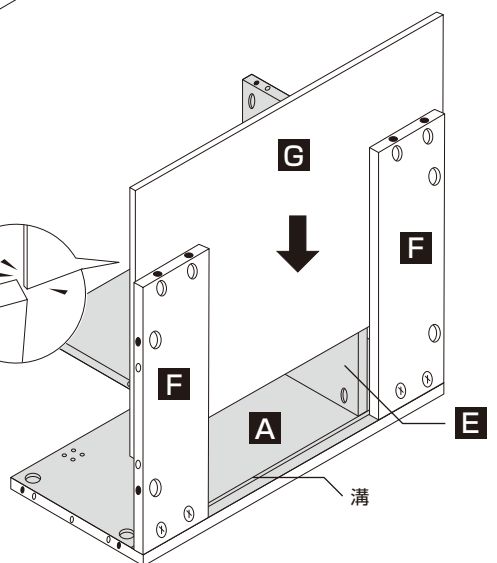


2. 補強板**F**(2枚)を左側板**A**と組合せる。マイナスドライバーを使い、カムロック(軸)を4カ所取付ける。



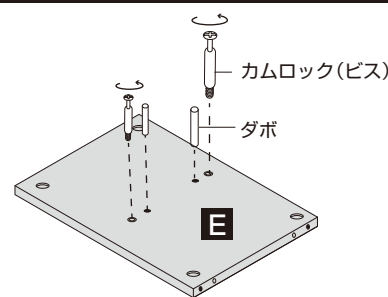
※溝にうまく入らない場合一度締めたボルトをゆるめてから再度スライドする。

3. 背板**G**を補強板**F**(2枚)と仕切り板**D**、棚板**E**の間に挟んで、左側板**A**の溝までスライドする。

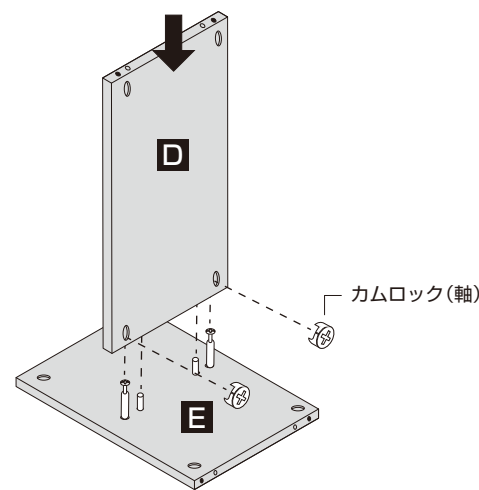


3 BOX 内部の組立

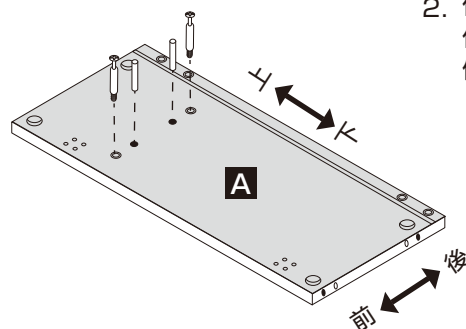
※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立てください。



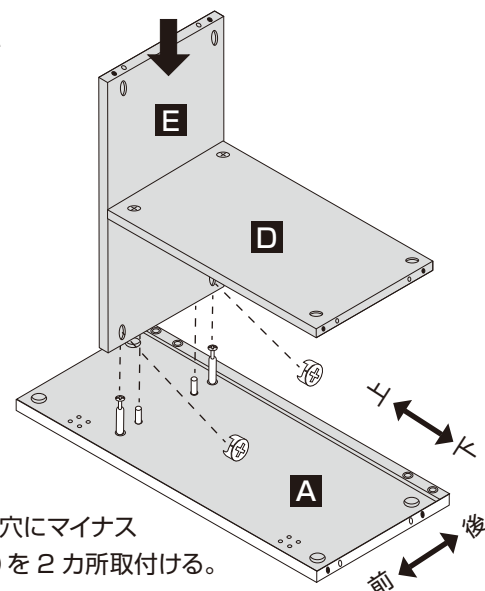
1. 棚板**E**の下穴にカムロック(ビス)とダボを各2カ所取付ける。



2. 仕切り板**D**を棚板**E**と組合せる。仕切り板**D**の下穴に、マイナスドライバーを使い、カムロック(軸)を2カ所取付ける。



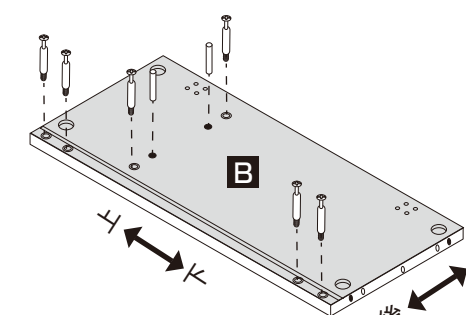
3. 左側板**A**の下穴にカムロック(ビス)とダボを各2カ所取付ける。



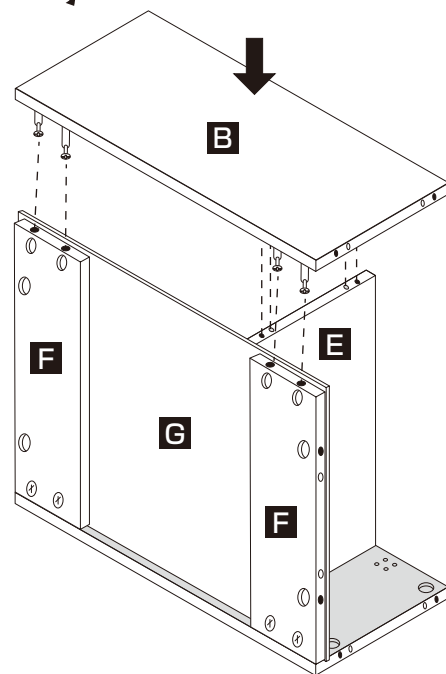
4. 棚板**E**と仕切り板**D**を回転させ、左側板**A**と組合せる。棚板**E**の下穴にマイナスドライバーを使い、カムロック(軸)を2カ所取付ける。

5 BOX 内部の組立

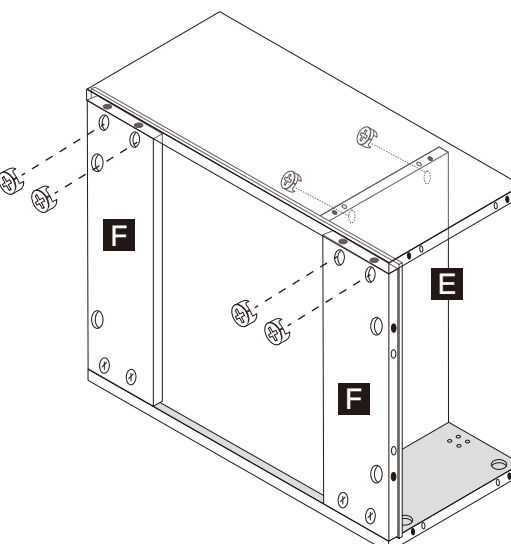
※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立てください。



1. 右側板**B**の下穴にカムロック(ビス)を6カ所取付け、ダボを2カ所取付ける。



2. 右側板**B**を裏返して棚板**E**と補強板**F**(2枚)と組合せる。

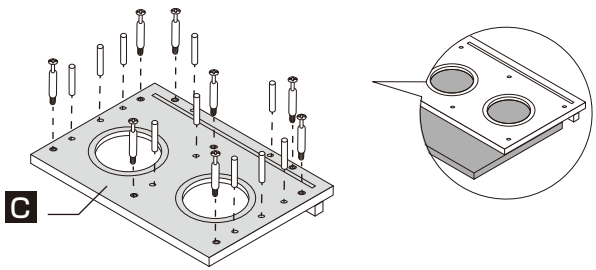


3. 棚板**E**の内側と補強板**F**(2枚)の外側にカムロック(軸)を6カ所取付ける。

6 本体 BOX の組立 ※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立てください。

1. 天板 **H** 内側にカムロック(ビス)とダボを各 6 カ所取付ける。
2. 本体の棚板 **E** が上に向くように回転させる。天板 **H** を左側板 **A**、右側板 **B**、補強板(上) **F** と組合せる。
3. 両外側 **A B** の内側と補強板(上) **F** の外側にマイナスドライバーを使い、カムロック(軸)を 6 カ所取付ける。

7 本体 BOX の組立 ※パーツには方向があります。本体の向きに注意して組立てください。

1. 底板 **C** の下穴にカムロック(ビス) 8 カ所取付け、ダボを 10 カ所取付ける。

底棚の下に梱包内の発泡スチロール板を置くことをおすすめします。
2. 本体の天板 **H** が地面になるように回転させる。底板 **C** を左側板 **A**、仕切り板 **D**、右側板 **B**、補強板(下) **F** と組合せる。
3. 両外側 **A B** と仕切り板 **D** の内側と補強板(下) **F** の外側にマイナスドライバーを使い、カムロック(軸)を 8 カ所取付ける。

8 扉の取付 キャビネットの扉は左右兼用

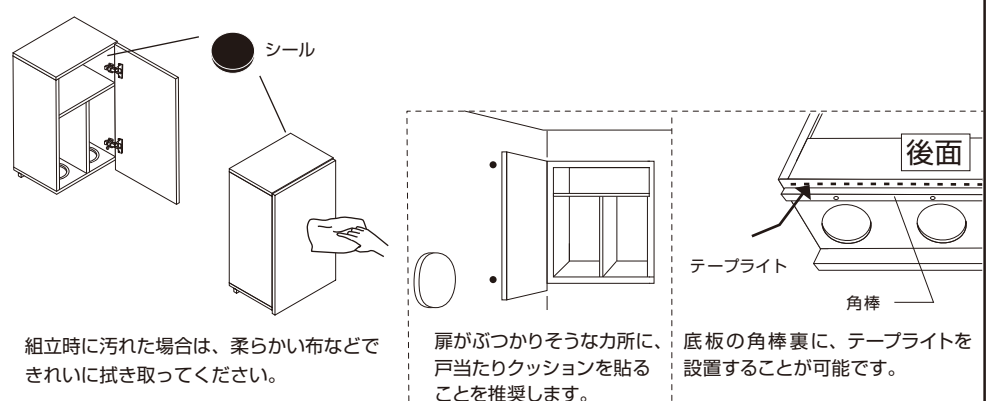
1. 丁番穴にはめ込む。
2. 丁番用ビスで固定。
 1. ステップ 2 に丁番を固定した側板が地面になるように回転させる。扉 **1** の表裏を確認して置き、丁番を合わせて扉の穴にはめ込む。下穴を確認しプラスドライバーを使い、丁番用ビスをそれぞれ 2 カ所取付ける。
- 開閉時に指を引っかけられるよう扉はあえて下に長い設計となっています
2. この際、手がかりが下方向になっているかを確認してください。

9 扉のズレを調整

1. キャビネット設置前に扉の隙間で確認をください。プラスドライバーで、扉のズレ(上下左右)を調整してください。
 2. 丁番にカバーをはめる。
- (丁番調整方法は別紙参照)

10 完成・本体のゆがみの確認とボルトの固定

1. 前後左右に動かして本体に傾きがないか確認し、ボルトのゆるみがあるカ所をすべて締める。
2. 必要に応じて内側のボルト頭部をかくためシールを貼る。



1 ヶ月に 1 ～ 2 回ほど定期的メンテナンスをおこなってください。
使用状況によりビスやパーツがゆるんでいる可能性があります。